2022年9月期　決算説明会

Financial results briefing materials for the fiscal year ended September 2022

2022年12月2日

Circulate
the possibilities

株式会社アサカ理研
ASK
証券コード：5724

社長紹介

代表取締役社長

山田　浩太

生年月日	1983年11月29日	
出身地	福島県　郡山市	
略歴	2012年4月	当社入社
	2014年4月	ASAKARIKEN(M) SDN. BHD. 取締役
	2016年11月	営業本部副本部長
	2016年12月	取締役執行役員営業本部副本部長
	2017年12月	取締役執行役員営業本部長
	2019年11月	株式会社ASAKA SOLAR代表取締役（現任）
	2020年10月	取締役執行役員管理本部長
	2022年10月	代表取締役社長に就任

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

1．2022年9月期 決算報告
2．2023年9月期 通期見通し
3．株主還元

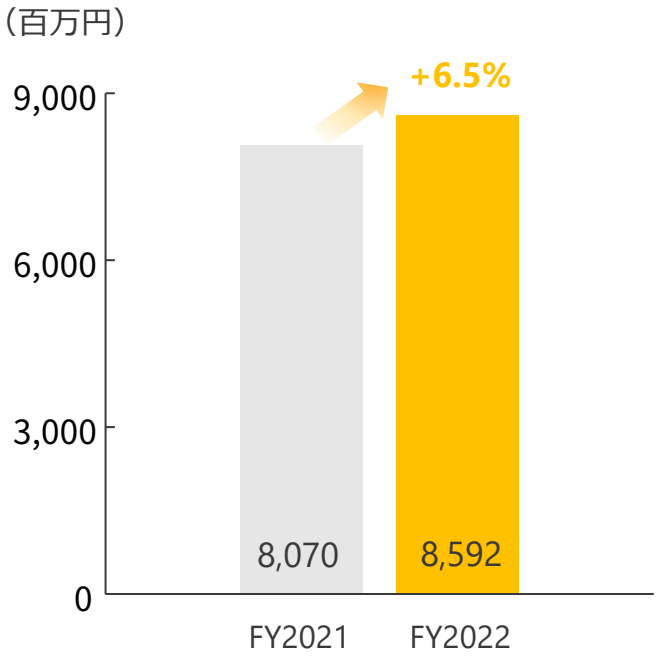
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

1．2022年9月期 決算報告
2．2023年9月期 通期見通し
3．株主還元

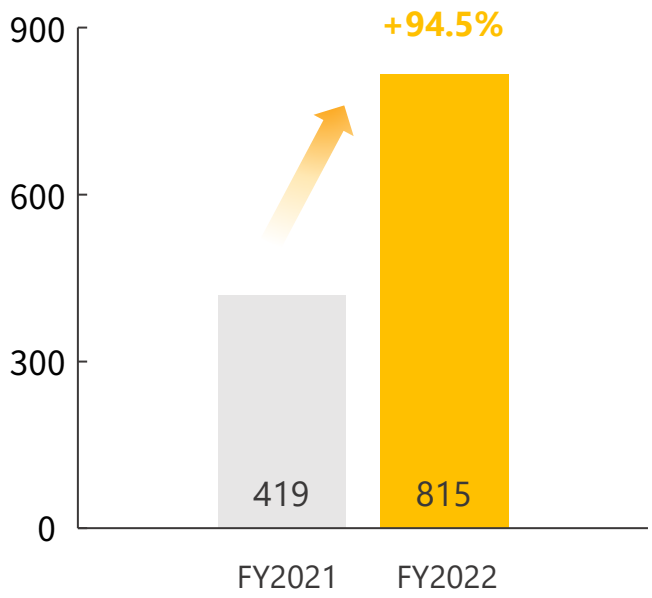
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

2022年9月期　決算ハイライト

売上高



営業利益



売上高

8,592百万円

（前期比 +522百万円）

営業利益

815百万円

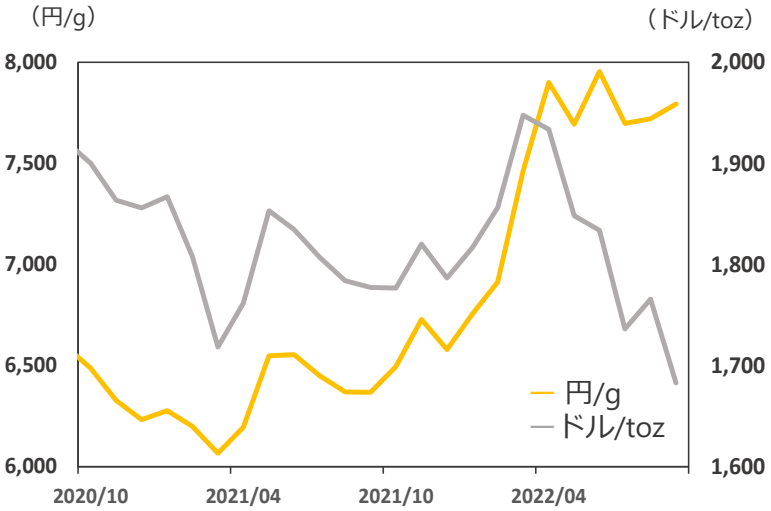
（前期比 +396百万円）

- ✓ 売上高で前期比＋6.5%、営業利益で前期比＋94.5%の増収増益。
- ✓ 中国ロックダウン等の影響による一部取引先での減産もあり、貴金属の取扱数量は前期をやや下回った。
- ✓ 地政学リスクや円安の影響で、金（Au）をはじめとする主要製品価格は前期を上回った。
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は上場以来最高益を達成。

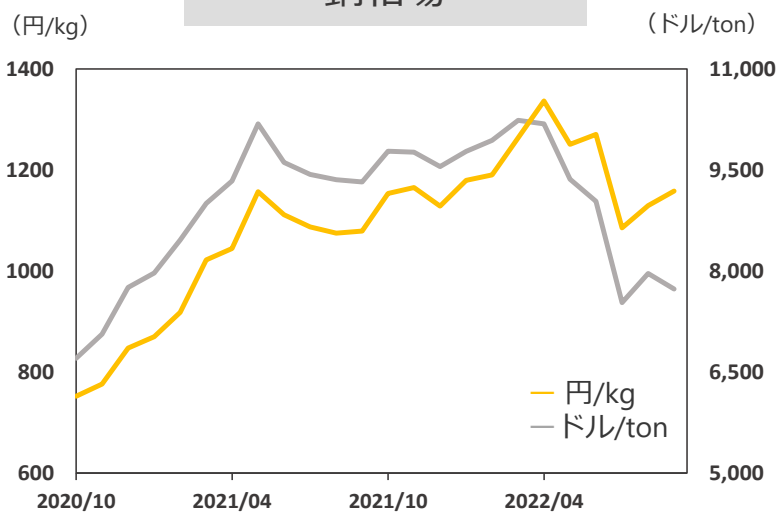
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

主力製品相場

金相場



銅相場



- ✓ 米国金利の大幅な利上げ見通しを受け、ドル建て価格は軟調に推移。
- ✓ 円安ドル高の影響により円建て価格は堅調に推移。

- ✓ 電動車や再生可能エネルギー等の脱炭素関連需要の拡大や円安の影響を受け、円建て価格は堅調に推移。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

連結損益計算書

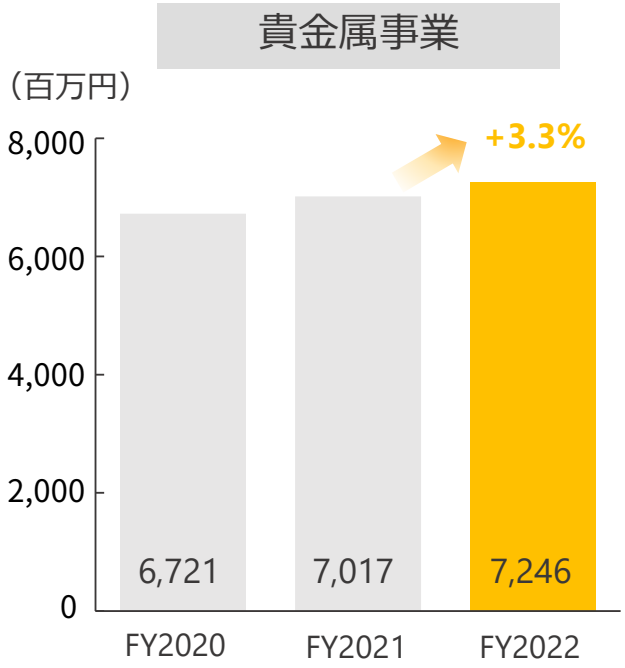
（百万円）

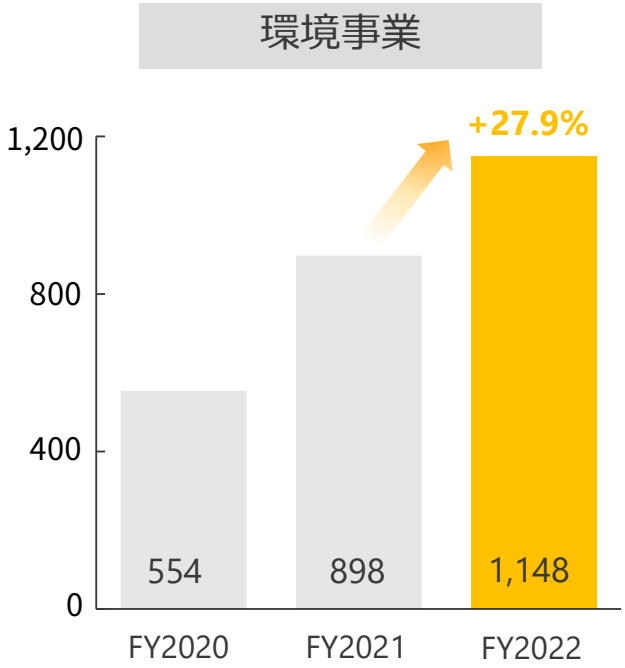
	FY2021実績 (A)	FY2022 4月修正予想（B）	FY2022 実績（C）	前期比 (C-A)	予想比 (C-B)/B
売上高	8,070	8,450 ~ 9,340	**8,592**	522 6.5%	1.7% ~ △8.0%
営業利益	419	705 ~ 860	**815**	396 94.5%	15.7% ~ △5.1%
経常利益	445	680 ~ 835	**776**	331 74.2%	14.1% ~ △7.1%
(利益率)	5.5%	8.0% ~ 8.9%	9.0%	3.5pt	1.0pt ~ 0.1pt
親株主に帰属する当期純利益	377	520 ~ 635	**622**	245 64.9%	19.6% ~ △2.0%
1株あたり当期純利益額(円)	74.70	102.55 ~ 125.23	**122.70**	48.00	20.15 ~ △ 2.53

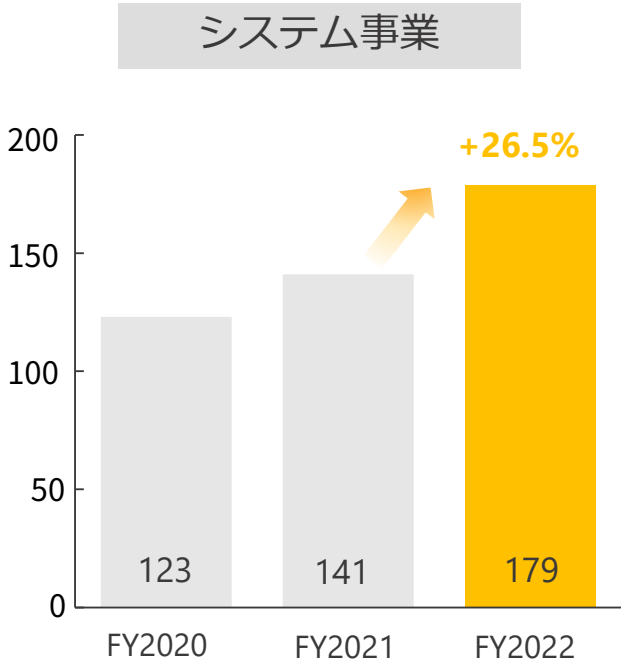
- ✓ 売上高　：主要製品価格が前期を上回ったこと等により＋522百万円の増収。
- ✓ 営業利益　：売上高の増加に伴い営業利益も増益となった。
  LiB再生事業の研究開発等増加により販管費は前期比＋361百万円。
- ✓ 経常利益　：営業外費用が前期比増加も、営業利益の増加に伴い増益。
- ✓ 当期純利益：経常利益の増加に伴い、上場以来過去最高益。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

各セグメント売上高





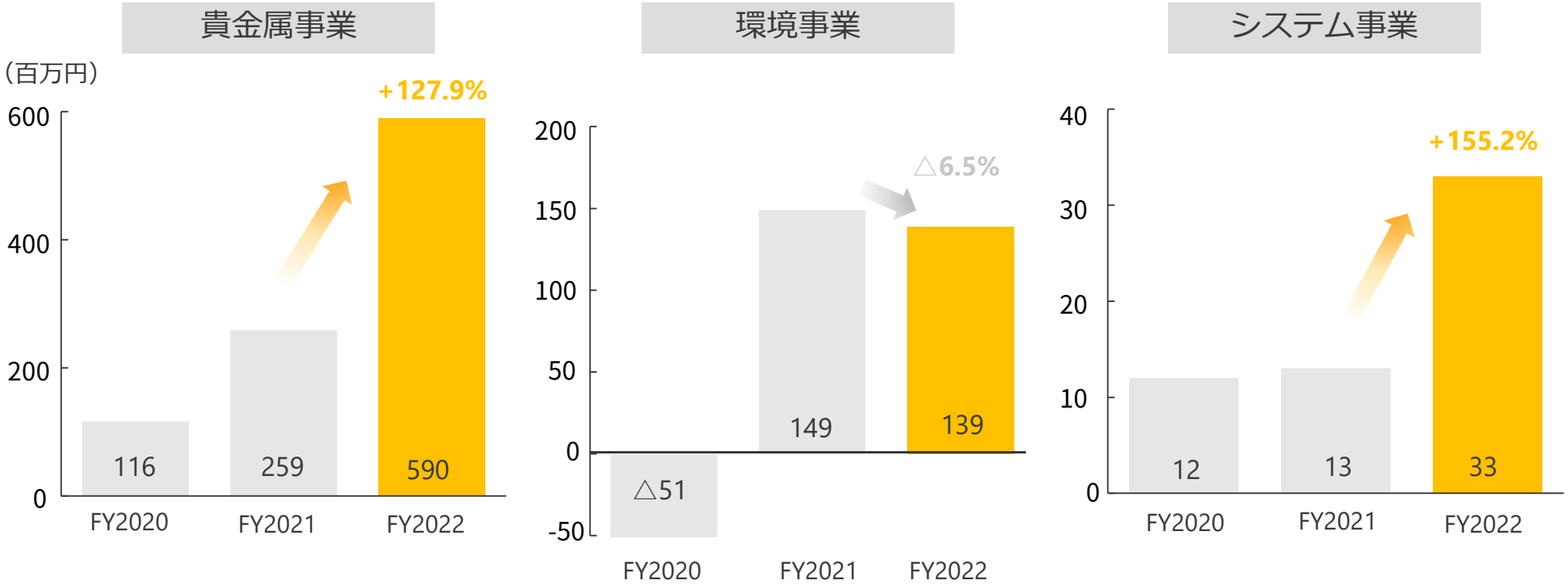


貴金属事業　：主要製品価格が前期を上回る
環境事業　　：銅の販売価格が前期を上回る
　　銅ペレット及び無機薬品の販売数量増加
システム事業：品質管理システムの販売数増加

増収

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

各セグメント利益

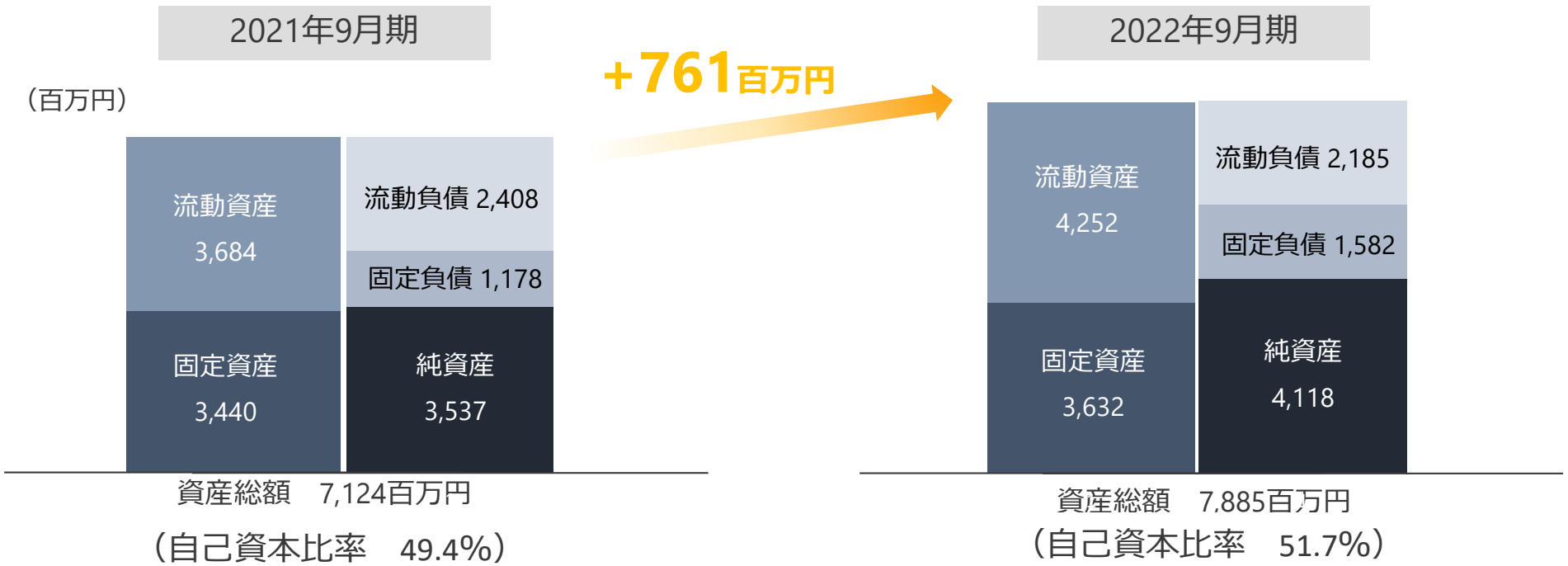


貴金属事業　：主要製品価格が前期を上回る
　　不採算事業の見直しにより増益
環境事業　　：一過性の全社費用増加により減益
システム事業：品質管理システムの販売数増加

連結ベースで
増益

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

連結貸借対照表



総資産が増加

- ✓ 資産合計（前期比＋761百万円）
  - ・現預金の増加、設備投資に伴う固定資産の増加
- ✓ 負債合計（前期比＋179百万円）
  - ・LiB再生事業への投資に伴う長期借入金の増加
- ✓ 純資産合計（前期比＋580百万円）
  - ・利益の積み増しにより増加

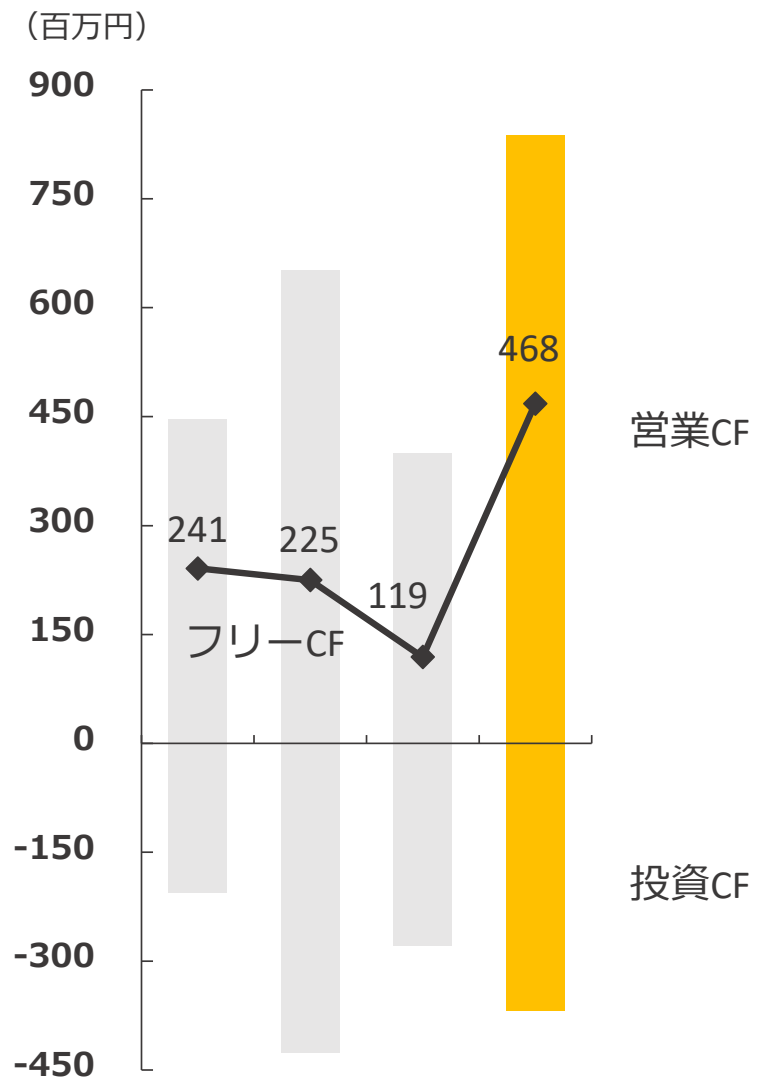
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

連結キャッシュ・フロー計算書

✓ フリーCFは前期比+349百万円⇒本業の良化
✓ LiB再生事業への投資を継続

（百万円）

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
営業活動によるCF	**447**	**652**	**399**	**838**
税引前当期純利益	125	123	425	802
減価償却費	246	233	227	232
その他	75	294	△ 253	△ 196
投資活動によるCF	**△ 206**	**△ 427**	**△ 279**	**△ 369**
有形固定資産の取得	△ 150	△ 425	△ 265	△ 589
その他	△ 55	△ 1	△ 14	219
財務活動によるCF	**△ 189**	**377**	**△ 274**	**△ 179**
借入金借入・返済収支	△ 134	470	△ 211	△ 120
その他	△ 54	△ 92	△ 63	△ 58
現金及び現金同等物	**620**	**1,220**	**1,054**	**1,346**
フリーCF	**241**	**225**	**119**	**468**



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

1．2022年9月期 決算報告

2．2023年9月期 通期見通し

3．株主還元

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

2023年9月期　業績予想

（百万円）

	FY2022 実績	FY2023予想		実績比	
		下限	上限	下限	上限
売上高	**8,592**	**8,400 ~**	**9,300**	**△2.2% ~**	**8.2%**
営業利益	**815**	**330 ~**	**440**	**△59.6% ~**	**△46.1%**
経常利益	**776**	**310 ~**	**420**	**△60.1% ~**	**△45.9%**
(利益率)	9.0%	3.7% ~	4.5%	△5.3pt ~	△4.5pt
親株主に帰属する当期純利益	**622**	**235 ~**	**320**	**△62.2% ~**	**△48.6%**

市況・貴金属相場

✓ COVID-19の感染再拡大や地政学リスクの高まりにより先行きは不透明。

✓ 円安傾向の継続により、円建て相場は引き続き堅調に推移する見通し。

電子部品・デバイスメーカー生産動向

✓ スマートフォン等の移動体通信向け需要はやや鈍化するが、
自動車・産業機器向け需要により貴金属の取扱数量は前期を上回る見通し。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

2023年9月期　業績予想

（百万円）

	FY2022 実績	FY2023予想		実績比	
		下限	上限	下限	上限
売上高	**8,592**	**8,400 ～**	**9,300**	**△2.2% ～**	**8.2%**

減益要因

✓ LiB再生事業への投資
・いわき工場への追加設備投資
・環境負荷軽減に向けた研究開発

✓ 企業体質強化に向けた投資
・業務効率化のための基幹システム更新
・人材登用、育成への積極投資

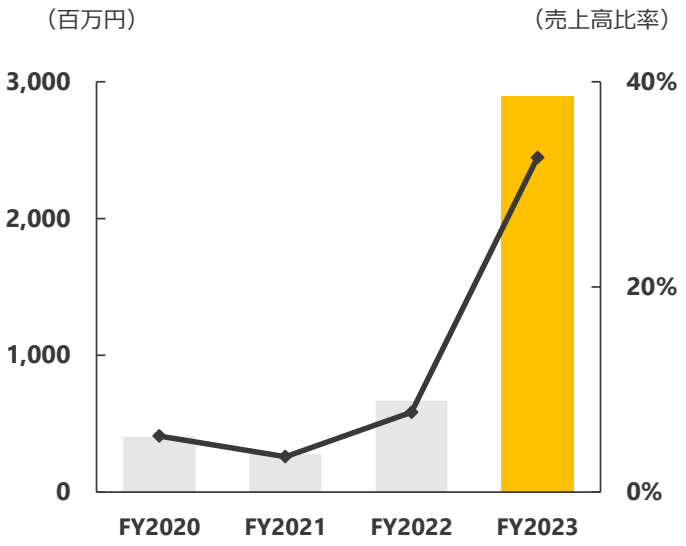
将来を見据えた前向きな投資により減益

営業利益	**815**	**330 ～**	**440**	**△59.6% ～**	**△46.1%**

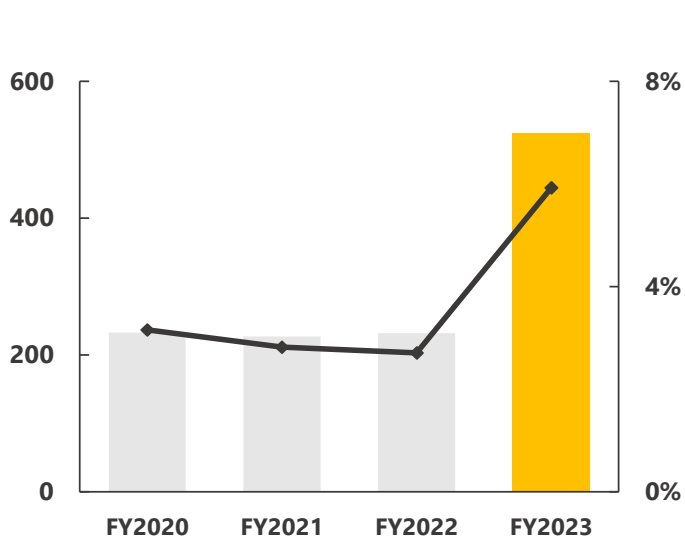
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

投資関連

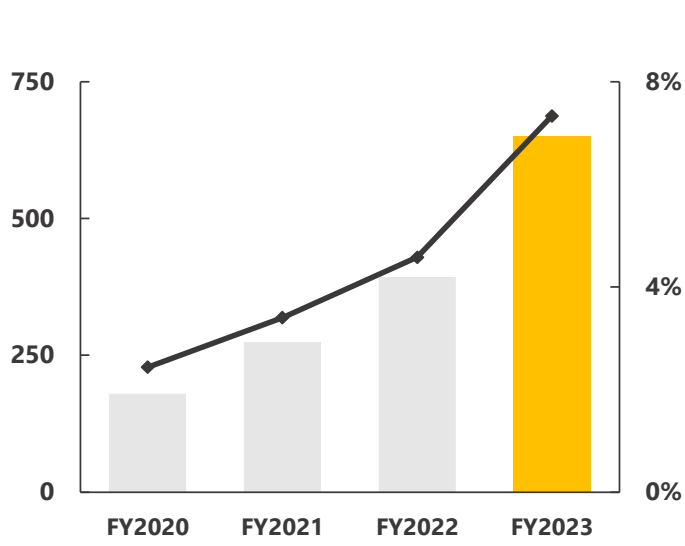
設備投資



減価償却費



研究開発費



設備投資：いわき工場への追加設備投資
　　基幹システムの更新　等
減価償却：いわき工場への追加設備投資
　　固定資産取得による増加
研究開発：環境規制対応・高回収率を実現
　　するLiBリサイクル工程への投資

LiB再生事業への投資拡大等により、
各科目で増額を見込む。
⇒将来のための前向きな投資

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

追加設備投資の目的

【公表：2022年10月】
追加投資額
12億円

今後要求されるであろう規制等に対応できる
LiBリサイクル工程とするため追加の設備を導入
⇒世界的な環境規制への対応【EU規制案】
※ CO2削減、廃棄物削減
⇒回収率目標への対応【EU規制案】
※ Co、Ni、Li、Mn

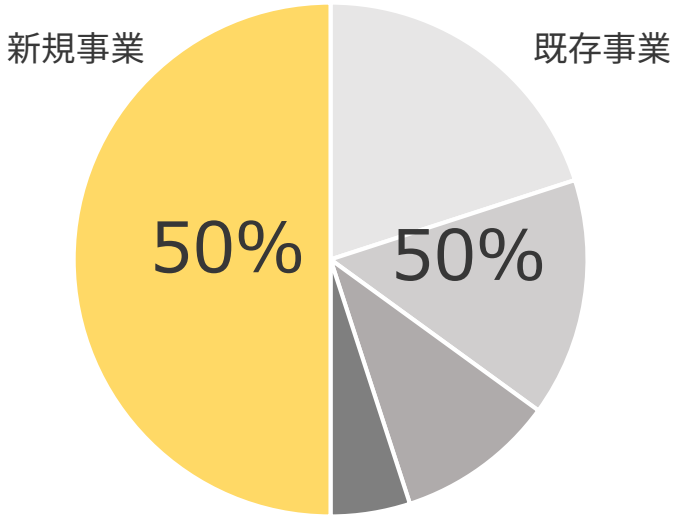
【公表：2021年1月】
当初投資額
10億円
・いわき工場を改修
・LiB再生事業にかかる量産プラントの導入

■環境負荷低減・高回収率を実現するための追加投資
■ＥＵ規制案など世界的な動きへの対応
■今後要求されるであろう規制等に対応した「 LiB to LiB」の 実現を目指す

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

経営目標

経営課題



<外部環境の急速な変化に伴う事業構成の見直し>

- ✓ 既存事業ポートフォリオにおける貴金属事業の比率が高く、同事業の業績動向に大きく左右される。
- ✓ 電子部品・デバイス業界の生産動向や貴金属相場の影響に大きく左右される。
- ✓ 技術革新による既存事業の市場縮小懸念。

経営目標

<LiB再生事業の早期収益化>

- ✓ パートナーとの協働、サプライチェーンの構築
- ✓ 量産化に向けた設備投資、製造技術の確立

<既存事業の収益力の向上>

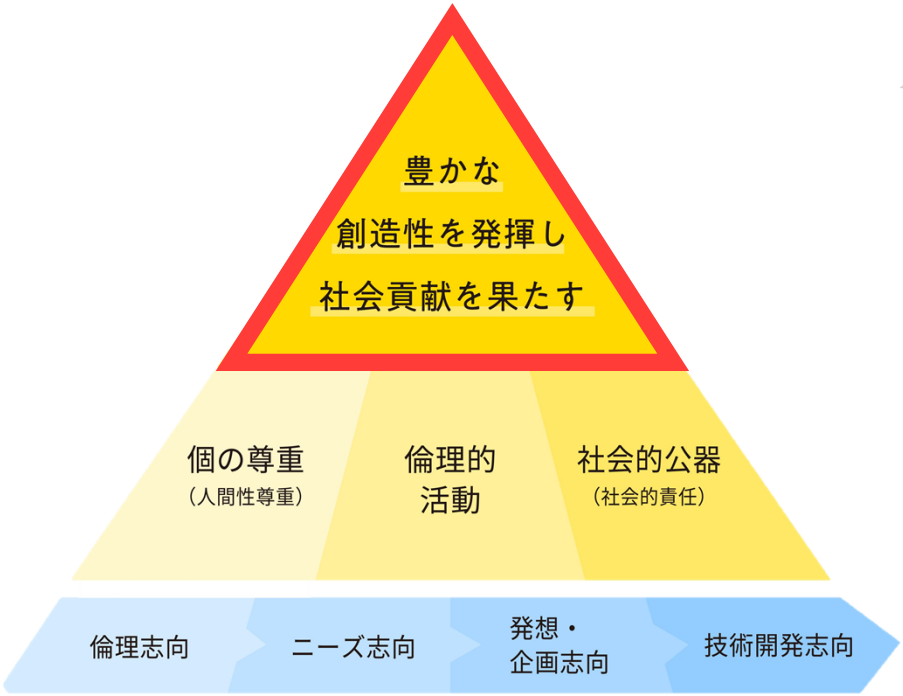
- ✓ 貴金属事業はじめ、相場に頼らない純粋な「稼ぐ力」の強化を図る

<経営基盤の強化>

- ✓ 今後の事業展開に備えた財務基盤の強化と、コーポレートガバナンスの見直し

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

社是の実現に向けて



「創造性の発揮」

▼

社員一人ひとりの学びとチャレンジ

・社員が働きやすい環境整備
・人材育成の体制構築

⇒ **人事制度改革**の実施

人的資本への積極的な投資により
社員一人ひとりの働きがい・やりがいの向上に努める

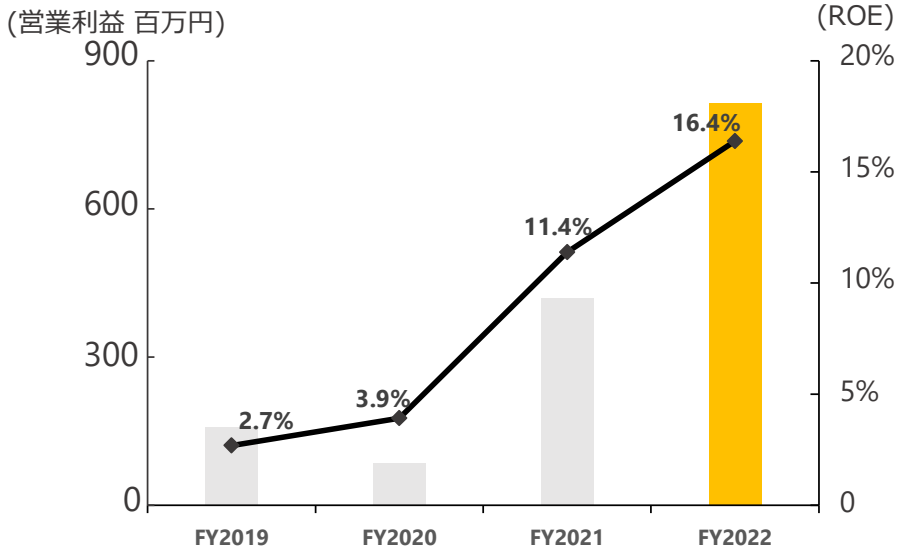
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

1．2022年9月期 決算報告
2．2023年9月期 通期見通し
3．株主還元

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

株主還元

株主還元に関する目標



- ✓ 株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定配当を継続。
- ✓ 2022年9月期は**ROE10%**の継続維持達成、今後も経営指標として継続。
- ✓ 業界内における競争に勝ち残るための企業体質強化、今後の事業展開に備えるための内部留保等を勘案しながら、業績に裏付けられた成果の配分を実施。

自己株式の取得

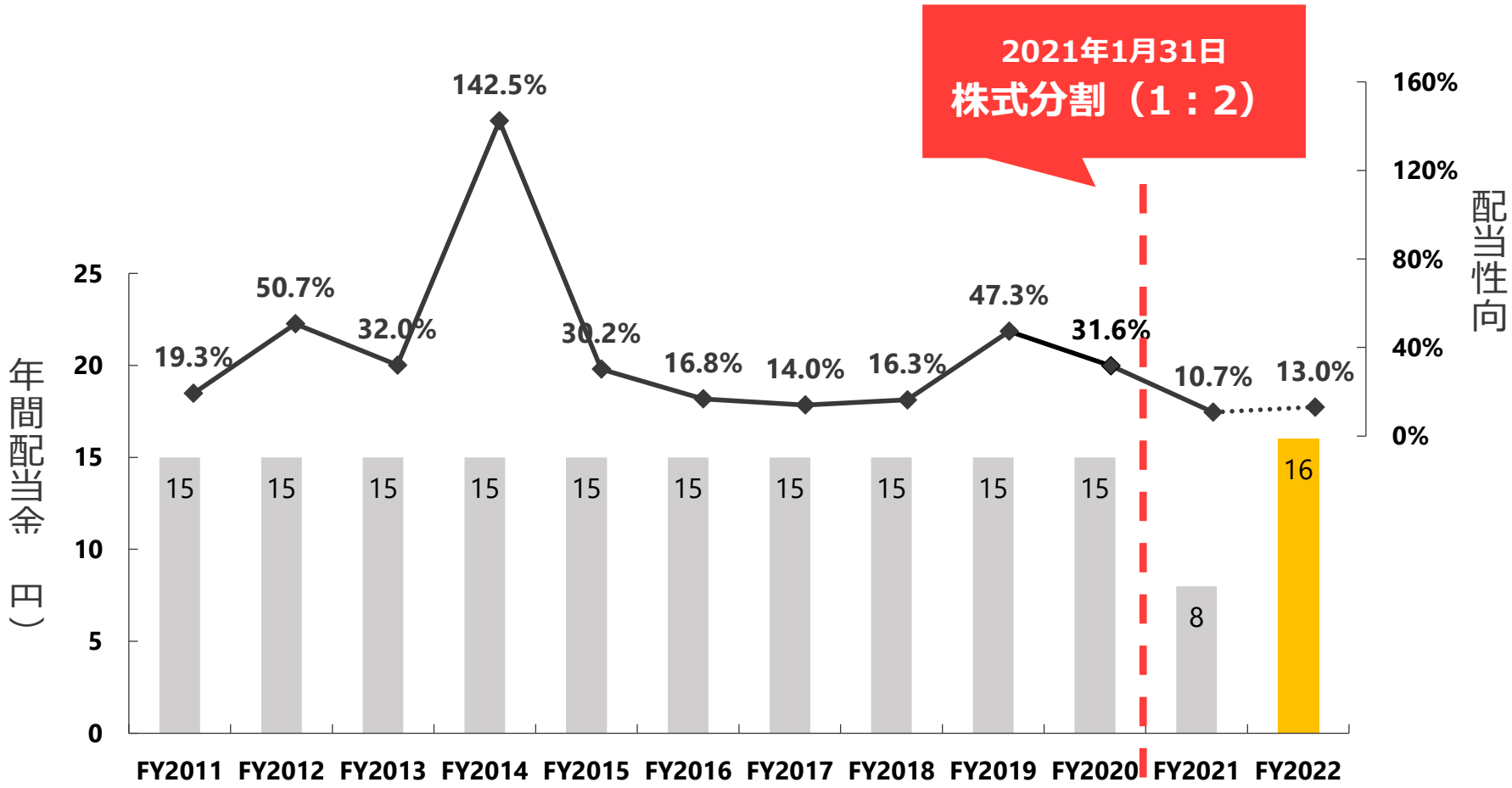
- ✓ 取得し得る株式の総数：75,000株（上限）
  ※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.48%
- ✓ 取得価額の総額　：127,500,000円（上限）
- ✓ 取得期間　：2022年11月16日～2022年12月16日まで

（参考）2022年9月末時点の保有状況：69,750株

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

配当実績

- ✓ 2022年9月期は上場以来最高益だったことより、**1株当たり8円の増配を決定。**
- ✓ 株主に対する利益還元の一環として、安定配当を継続方針。



※2021年1月20日を効力発行日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年9月期以降における配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

- ✓ 本書には、当社および当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

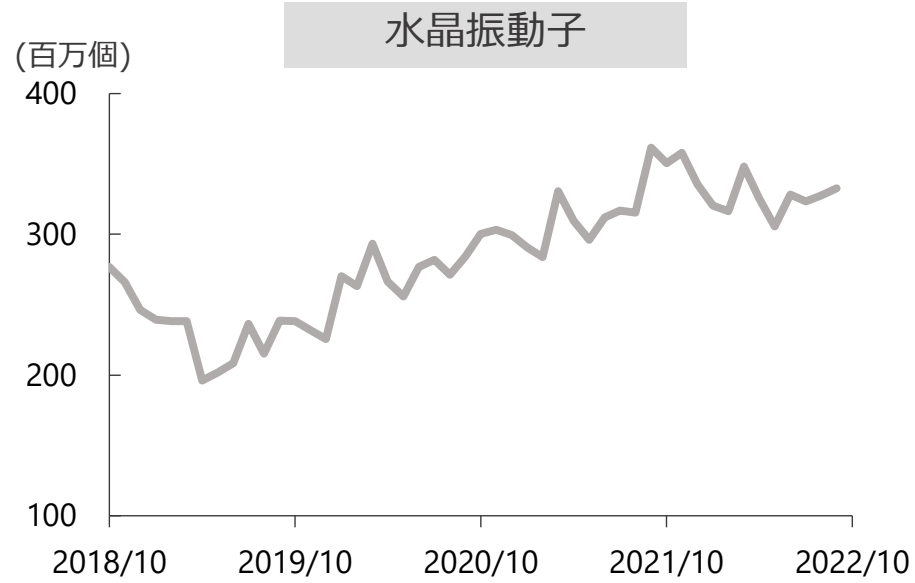
- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っております今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

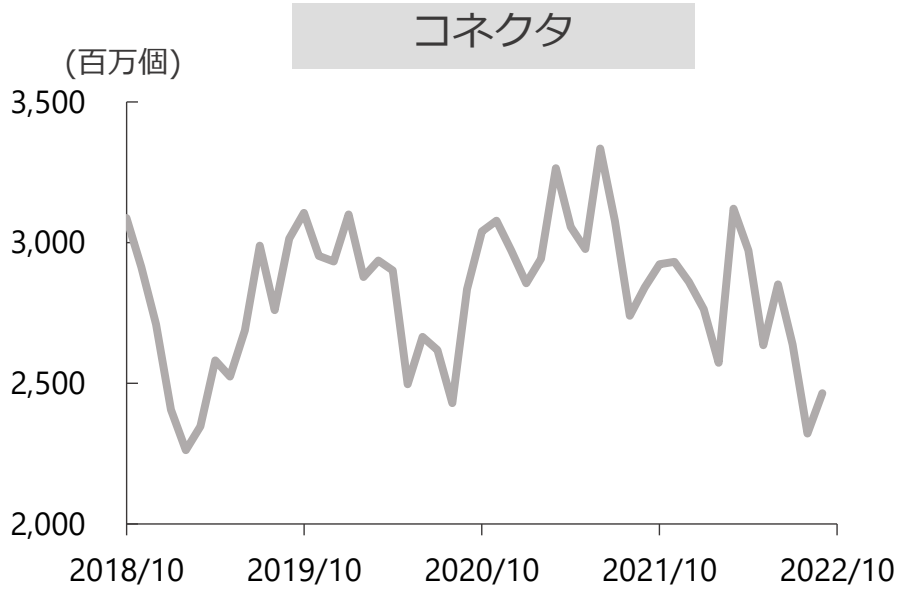
- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

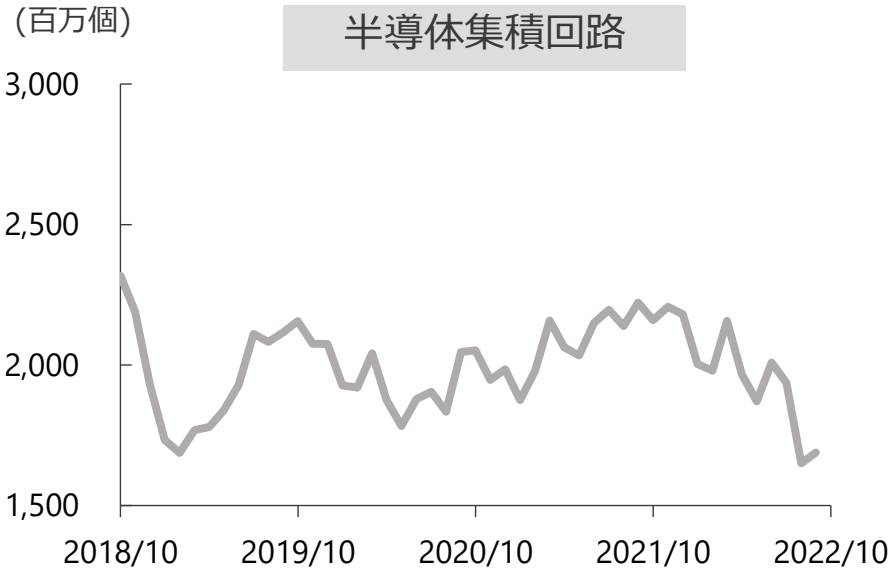
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

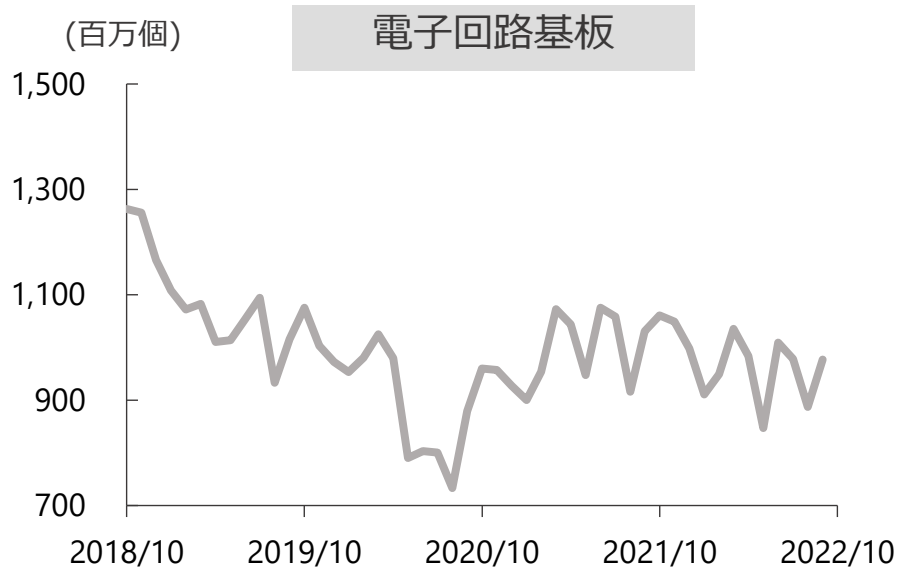
ASK
株式会社アサカ理研

業界別生産実績



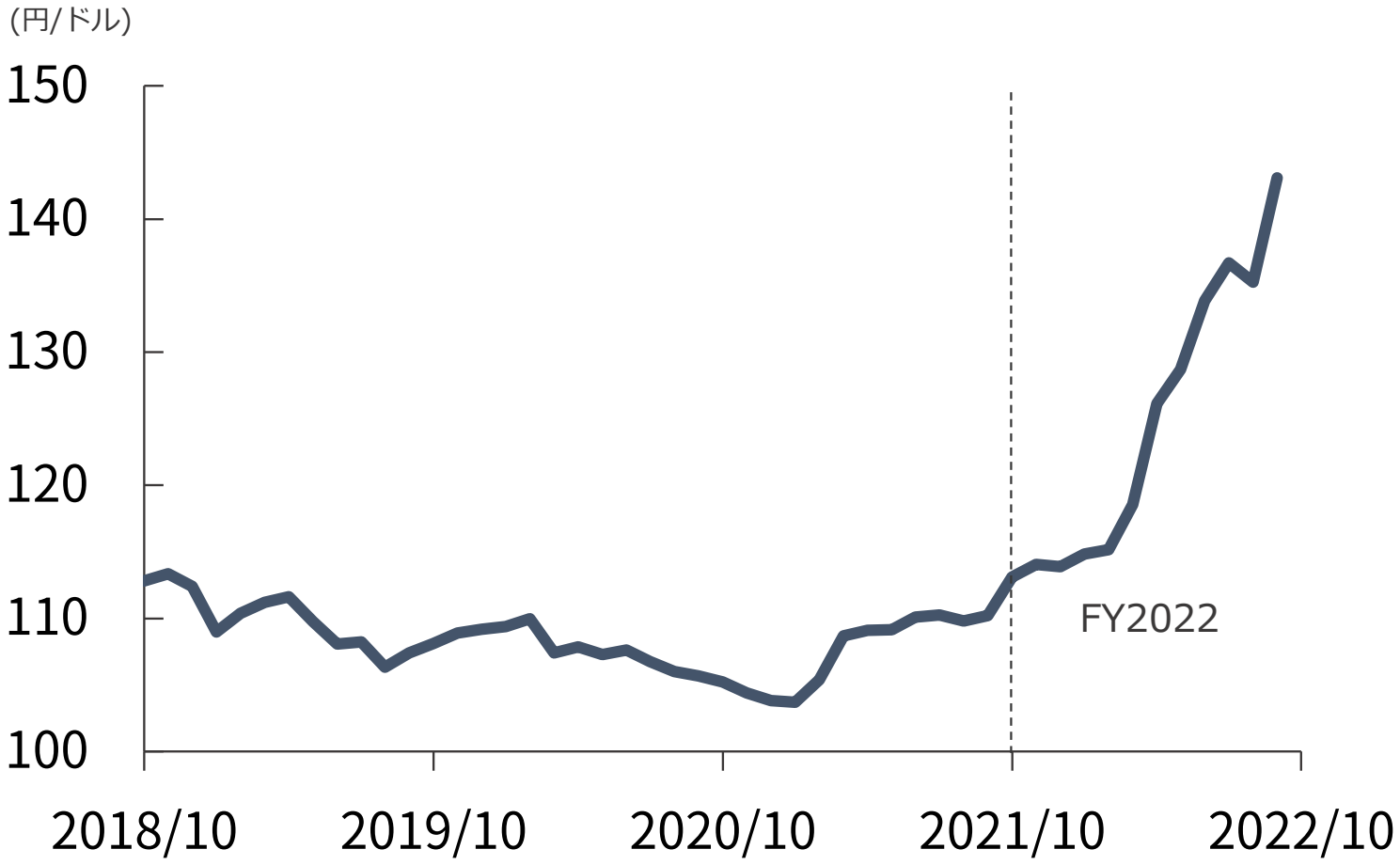






copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

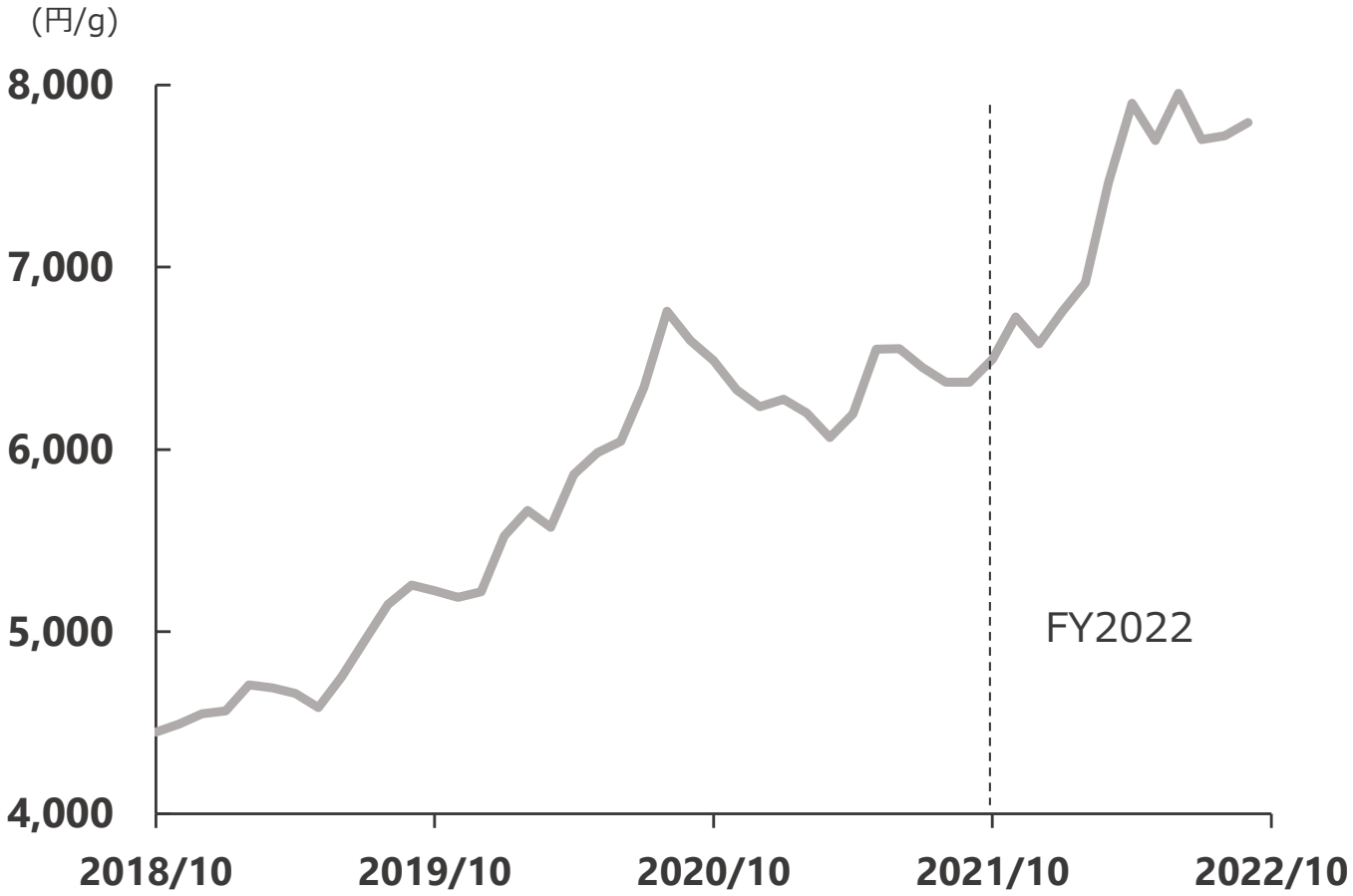
為替相場



出所：日本銀行（東京市場　ドル・円スポット　中心相場/月中平均）

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

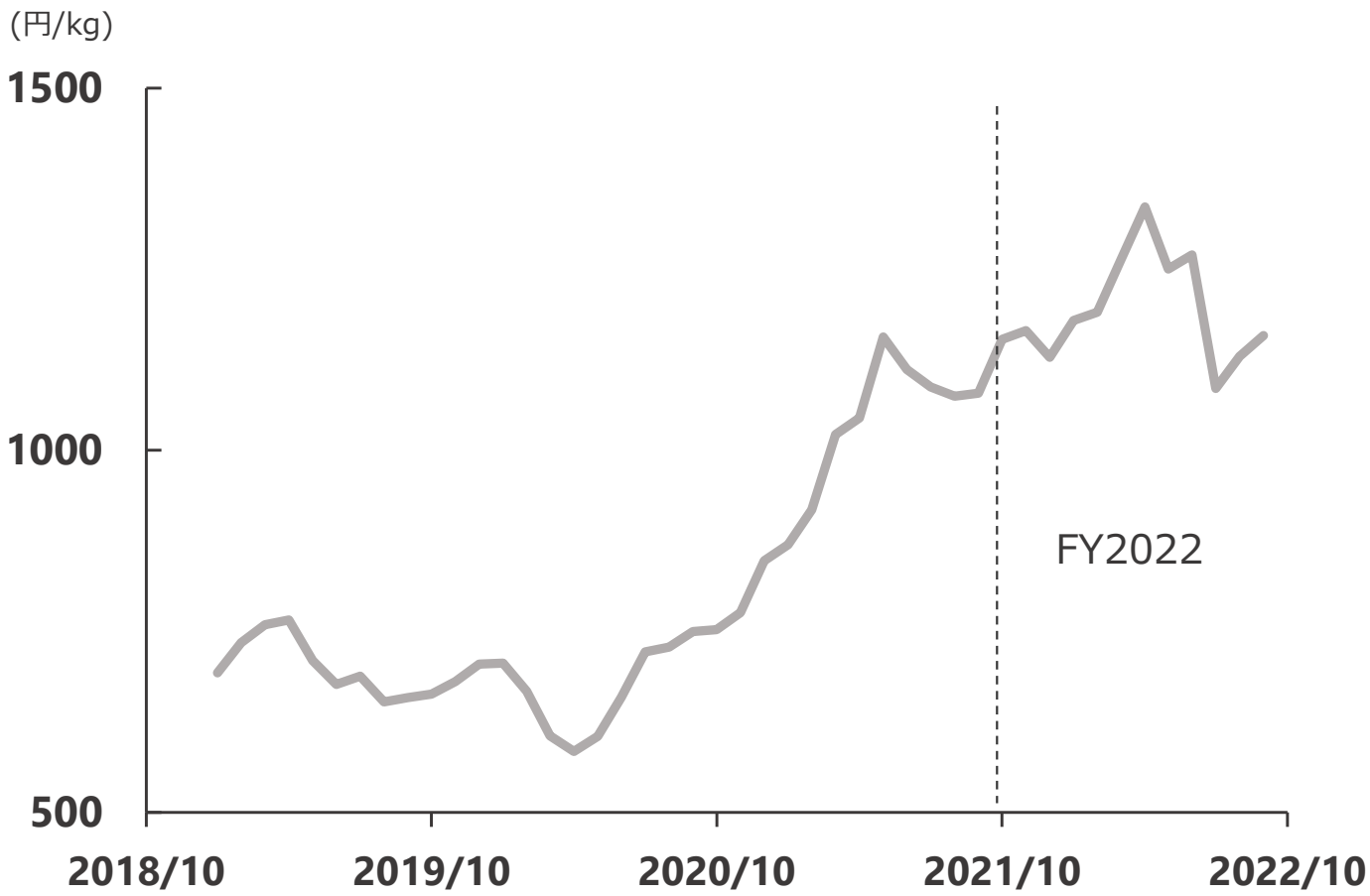
金価格



出所：田中貴金属工業株式会社

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

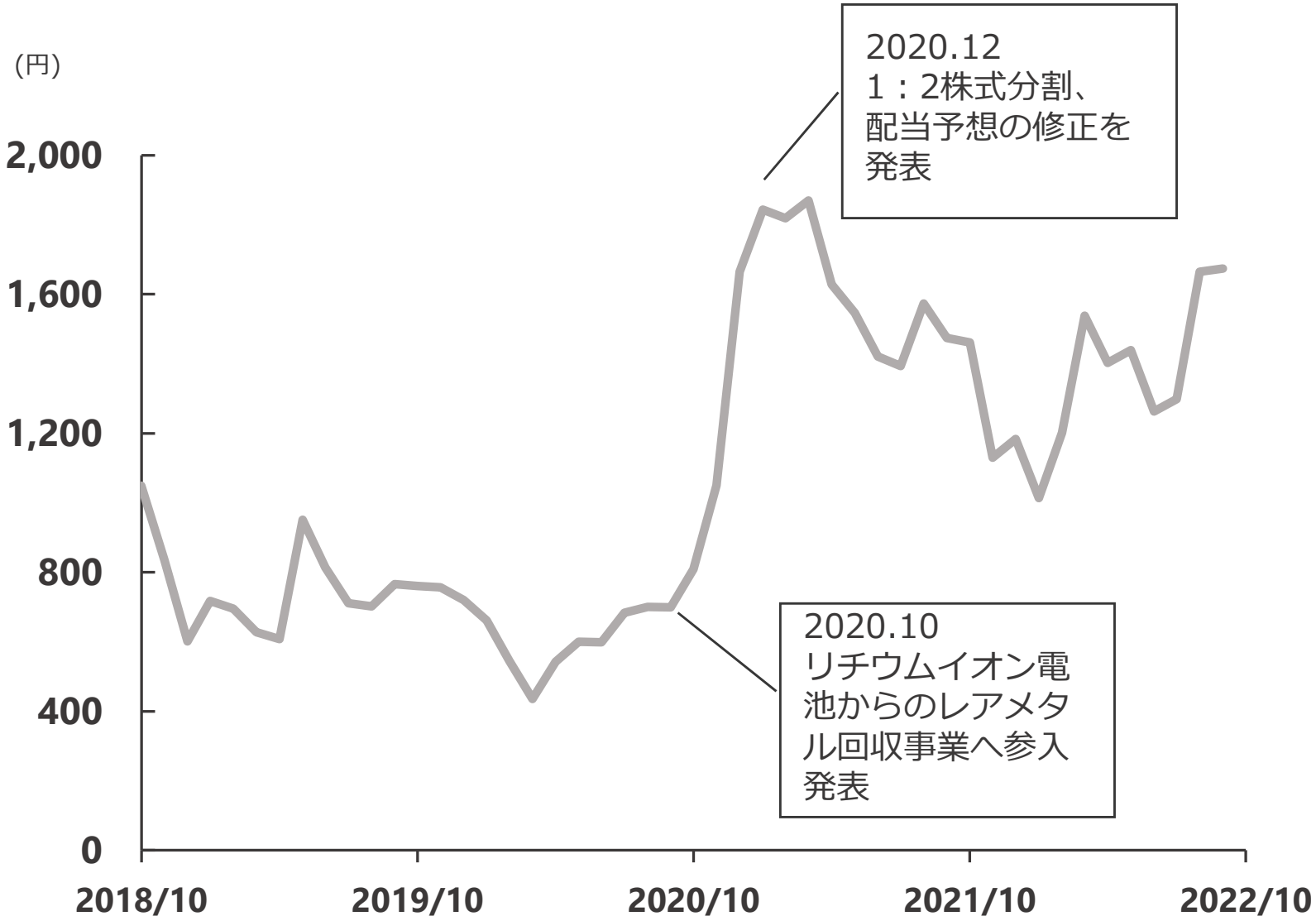
銅建値



出所：JX金属株式会社

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

株価推移



copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.